

# のだネット通信



中核地域生活支援センター のだネット (千葉県委託事業・野田健康福祉圏域)

TEL 04-7127-5366 / FAX 04-7127-5367

〒270-0235 野田市尾崎840-32 / E-mail noda-net.kusunoki@nifty.com

<http://homepage2.nifty.com/noda-net/>

## 謹賀新年

今年もよろしくお願いいたします。職員よりご挨拶申し上げます。

### 所長 相馬 伸男

年も改まり、4月からの新たな相談支援体制に向けた整備が進みつつあります。

平成16年から始まった中核センター事業のだネットも新しいステージに立てるよう、スタッフ一同これまで以上に研鑽を積み、多くの人々との連携に努めたいと決意を新たにしています。

本年もよろしくお願いいたします。

### アドバイザー 山本 進

嬉しいニュースをひとつ。今年の10月に障害者虐待防止法が施行されます。これにより、私の生涯の仕事である成年後見制度の利用支援事業が必須化されます。障がいのある方が誰でも成年後見制度を利用できる仕組みの始まりです。

### コーディネーター 五十嵐 季子

昨年からはじめた「地域移行支援事業」を進める中で新しい出会いや新しい知識を得ることができています。今年ももっともっと研鑽していきます！

### 地域総合コーディネーター 金城 和子

昨年の震災が多く尊い命を奪いましたが、3月11日に生まれたお子さんを紹介するTVを観、「この生命を守る責任が私たちの務め」と改めて感じました。一つとして無駄な生命はない。生きている限り愛に包まれて健やかに育ててほしい。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。

### 相談員 竹繁 和子

“新しい年になって”いろいろな人との出会いがあり、その度に自分の力の無さや経験のなさに情けない思いをしています。人の意見に耳を傾け新しい考え方を受け入れる力、未知の新しい体験を求める勇気と好奇心を忘れないで今年も頑張りたいと思います。

### 精神障害者地域移行支援事業 推進員 大越 孝範

去年11月16日にいちいの会のだネットに入職した大越孝範と申します。

野田はあまり馴染みがなかったのですが、落ち着いた雰囲気土地なので、好印象を持ちました。学校卒業後、利用者に関わる業務が多く、今の新しい仕事に戸惑うことが多く、毎日、勉強させていただいています。街にも、仕事にも焦らずゆっくり慣れていきたいです。

### 相談員 五月女 真美

今年も健康に気を付けて、少しでも皆さんのお役に立てるように頑張ります。今年もよろしくお願いいたします。

### グループホーム等支援ワーカー 澤田 安識

ホームズ見てください♪♪

## 千葉県精神障害者地域移行支援事業 進捗状況

### ◆第2回野田圏域地域移支援協議会 開催

平成23年12月21日(水)に第2回の協議会が行われ、事例の進行状況の報告や各事業所等からの近況が語られました。

事例の中では事業を進める上での当事者本人の気持ちの揺れ不安等の問題や外泊訓練の方法などで沢山のご意見を頂くことができました。関係者からの意見としてはグループホームの必要性について要望が出されました。

地域移行を進めていく中で、退院するご本人の退院へのモチベーションの重要性を実感しました。「病院は綺麗で何もかもやってもらえる安心感があるが、地域生活は不安なことばかり…」と考えている方も多いようです。

退院したらやりたいことを一緒に探していくところから始めたいと思います。地域で当たり前暮らしの楽しさを思い出してもらえるように支援していきます。



## こころネット・はーとゆう研修会 報告

### ★「成人の発達障害について」

講師: 向谷地 宣明氏(ひだクリニック ベテラン式当事者研究室長) + 当事者の方々  
平成23年11月20日(日)開催 当日参加者: 53名

発達障害の方は基本的にまじめで完璧にやろうとする。複数の作業をするのが苦手で、特定の分野に強いこだわりがある。2次障害としてうつ、依存、パーソナリティ障害、適応障害、フラッシュバックが現れることがあるので他の精神疾患と見分けづらい。聴覚過敏は妄想と解釈されたり、敏感に感じとるので嫌がらせを受けていると考えたりするという。

うつと誤診されて最近になって発達障害と診断された当事者の方が体験を発表して下さいました。20cm積んだ本を2時間で理解できる一方で人の顔を見分けることができない(親の顔も間違える)、人と会った後高熱を出すなどの苦勞が語られました。

一番印象に残ったのは自分にとっての発達障害は「国籍のようなもの」という言葉。誰もが住んでいる所しか知らない。所変われば常識も変わる。イントネーションが違うようなものだと考えるようになったとのこと。今はだんだん周りの言葉がわかるようになってきて楽しめるようになったそうです。

### ★「回復力を高める家族の支援」～心の病のコミュニケーションほどよい距離のとり方について～

講師: 木村 綾子氏(コスモス心理相談室カウンセラー)  
平成23年12月4日(日)開催 当日参加者: 48名

コミュニケーションは心の病の人だけでなく誰にでもあり、得意な人もいれば苦手な人もいます。人と人の距離はどんなものなのかを心理学の視点からお話し下さいました。

子供が親を乗り越えるために親ができることはという問いに会場から「見守ること」と出ました。一生懸命見ていると子供の全部が見え、何か言いたくなってしまうので片目だけみくらの気持ちで見守るのが丁度いいとのこと。発想の転換も大切で枠の中でばかり考えても行き詰まるので自分の思い込みを外して考えることが重要だと教えられました。

## 県と市町村との懇談会

平成23年11月21日(月)健康福祉センターにて、  
県の障害福祉指導課、のだネットと市の保健セン  
ター、社会福祉課、児童家庭課の方々との懇談会  
が開催されました。



毎年開催されている懇談会ですが、今年は相談支援事業について話し合  
われました。パーソナルサポートとの連携等の課題がでました。



## 趣味の部屋

今回は第1回目なので、こちらからいつも上手なイラストを描いている方をお願いしたところ快く引き受けて下さいました。カラーでお見せできないのが残念です。

★匿名  
10代 女性  
のだネットで地域活  
動支援センターを紹介してもらいました。  
今は楽しく通ってま  
す！  
今年は自分から積  
極的に人と話せるよ  
うになりたいです！

「私の作品も載せてほし  
い！」という方大歓迎で  
す！  
絵・俳句・詩などなど  
なんでもOKです。

のだネット五十嵐までご  
連絡下さい。

